

冬の読書キャンペーン取組事例紹介シート（様式1）

取組名 ハッピーブック くじ

施設名 さいたま市立和土小学校

取組内容・工夫したところ・子どもの様子など

- 本校の蔵書からおすすめの本を2冊セットにし、内容が見えないように包んだ。「文字多め」「文字少なめ」の2コースに分けて、くじをひき、当たった番号のセット本を借りてもらう。参加者には「1冊貸し出し券」をわたした。
- 例年行っている「ブック福袋」とは異なり、どんな本か全く分からない。その点をおもしろく感じた高学年の方が利用してくれた。
- 利用の多い本とそうでない本との差が大きいので、蔵書の中で隠れている本にも目を向けてもらいたいというねらいで選書した。
- この期間に「シリーズ物の第1巻」「〇年生も読んでいる本」コーナーも作り、読書の幅を広げるように努めている。

活動風景（写真2枚程度）

